

スマイル タウン

人が好き



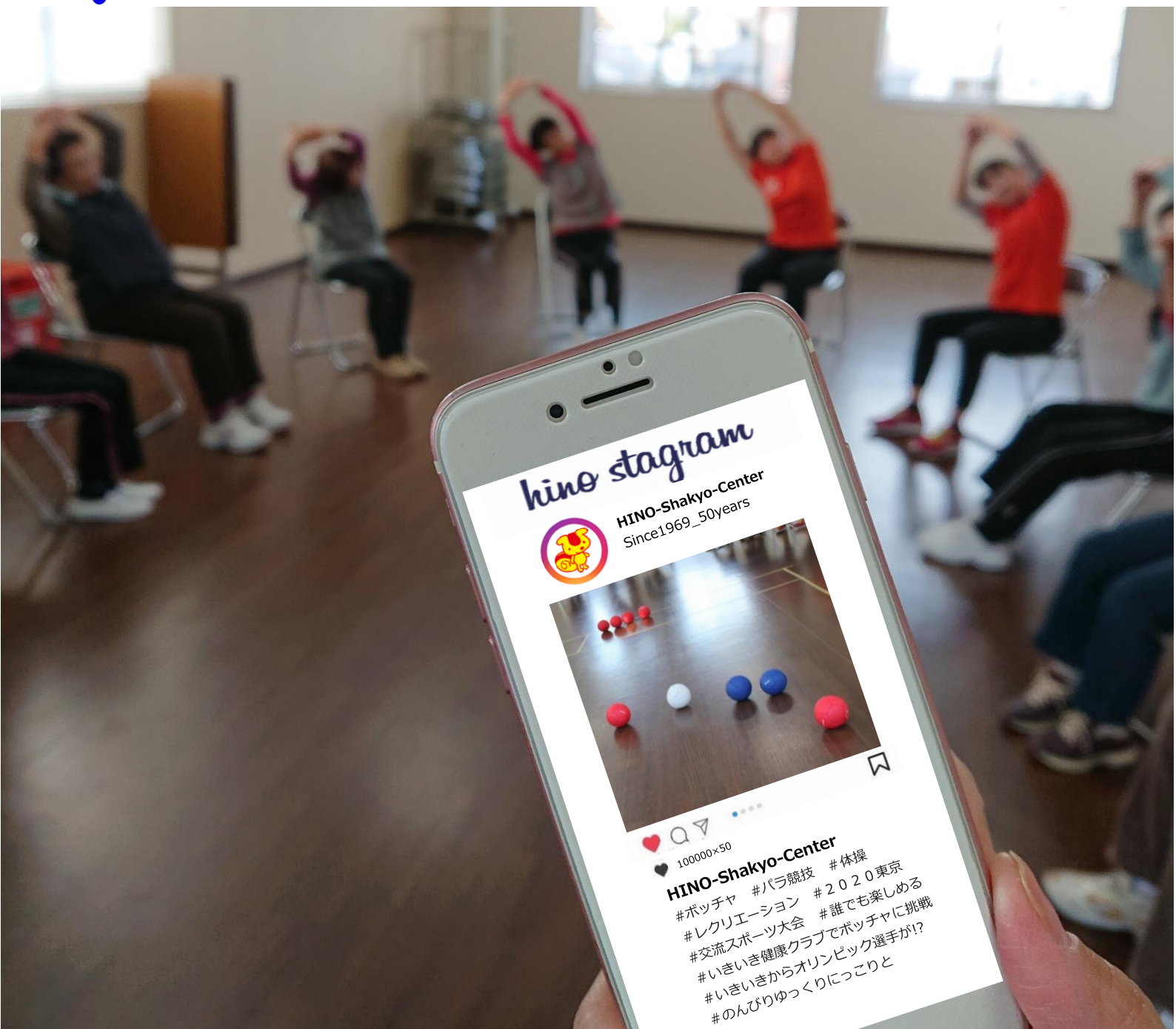
がステキな街が好き

2020

1・2
月

第307号

ひの社会教育センター は、市民のみなさまの
“やりたい”を実現し、「豊かなくらし」を応援する
施設として、1969年に日野市と勤社会教育協会が
協定書に基づいて設立しました。
今月もセンターで生きがいづくりをされる沢山の
市民の方々の活動をお伝えします。



●「つながり」

●「ひと」

●教室探訪記

●新館タイムズ

●センターからのご案内

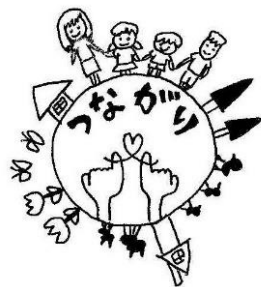
委託施設（みなみだいら児童館）地域での活動

シンガーソングライターSIO（シオ）小塩晶人さん

いきいき健康体操

新館の新たな使い方紹介

イベント情報/モグモグレシピ



『社会教育とは』『学んだことを、次につなげること』
根底にあるそのことを大切に、地域で実を結んできた実践活動の数々を紹介
します。

『地域に根ざす、施設のあり方』 『地域コミュニティ部の挑戦』

ひの社会教育センターが、日野市から委託を受けて13年目を迎える「みなみだいら児童館ぶらねっと」。京王線南平駅より徒歩5分の閑静な住宅街にある、地区センター併設の建物は、体育室やスタジオ、乳幼児室をも抱えた立派な建物です。

春から新たな5年間の委託期間をスタートするタイミングでお話を伺いました。

インタビュー当日、数組の乳幼児親子の対応をしながら出迎えてくれたのは、みなみだいら児童館ぶらねっと梅崎館長。



▲『みなみだいら児童館ぶらねっと』の梅崎館長

市内での福祉・介護関係の職を経て、平成19年、ひの社会教育センターの児童館受託が決定し館長となりました。

「地域に根差す日本一の児童館」を目指し、児童館スタッフ一同が「先生でも親でもないけれど、信頼でき、一緒に遊んでくれたり相談に乗ってくれたりする、面白い大人」であり続け、子どもとの関わりに四苦八苦しながら時間をかけて寄り添ってきました。

また、梅崎館長は「利用してくれる子どもとの関わり方はもとより、地域活動への積極的参加等、可能な限り『地域へ参入していくこと』に努めました」と、受託当初の苦労について語ってくれました。

受託して12年経った今、児童館の役割について坂口副館長は、『児童館を居場所として、地域で支えられ育った子どもたちが、新たに地域を支える人材となる』という、人の育ちの循環が生まれ始めています。」と語ります。

児童館を利用している子どもたちが成長し、ボランティアとして児童館の活動を支え、さらに親となつて自分の子どもと利用する。これは、児童館が「学校でも家でもない、もう一つの『居場所』」として存在し、長い時間をかけて関わってきたことで生まれた人の育ちの循環なのかもしれません。

また、長年にわたり築き上げてきた地域との関係が実を結び、今では「地域で活動したい」、

「子どものために何かしたい」という思いを持って、自らアイデアを持ち込んで児童館活動に協力してくださる地域の方が増え、「日食観察会」や「花の苗配り」など、児童館だけでは実現できないことも形にしています。

年間2万4千人もの人々が訪れる児童館は、12年間の長い関わりを経て、「地域に根差し、地域に愛される児童館」になりつつあります。そんな児童館の次なる5年間の目標は、『全世代』による、子どものための地域づくりです。

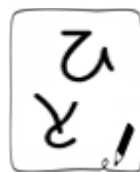


▲左より
『みなみだいら児童館ぶらねっと』の藤田副館長・坂口副館長・若泉

「全世代」とは、子どもや保護者、それを取り囲む地域のおとな全員を指します。全世代で子どもの育ちを支えることで、子どもが自ら健全に育っていくことができ、児童館地域がだれにとっても住みやすく、持続可能な町となることを目指していきます。

日々子どもたちの笑い声が絶えない、みなみだいら児童館ぶらねっと。その裏側には「地域に根差す日本一の児童館」を目指し、常に挑戦し続ける職員・スタッフの姿がありました。

(取材・若泉)



子ども時代はひの社会教育センターの子ども会に参加。青少年期は当時の「自然学園・スキースクール」のリーダーとして活動し、現在はシンガーソングライターとして活躍中の、SIOこと小塩晶人（こしおあきひと）さん（日野市出身）にお話を伺いました。

「ひの社会教育センターのことを、『古い友人』のように話すシオさん。そのお付き合いは、40年近い。当時の子ども会での体験、リーダーをしていた時の経験、様々な想いが今につながっています。」



実は、集団の中で、みんなをまとめるようなタイプの、いわゆる中心人物ではなかったと話すシオさん。子ども会の活動で山を登っているとき、みんなにないめず、自分ひとりがみんなからはぐれ遅れてしまうことも。でもそんな自分でも一緒に歩いてくれる

リーダーがいてくれたこと、そのことがその後のシオさんの気持ちに大きな影響を与えました。「主流にならなかったとしても山頂につく方法がある。人とおちよつと違ってもいいんだよ、遅れても大丈夫だよ、と、受け入れてくれる場所。『そういう子』が来られる場所だった」と話します。



若い頃から音楽を続けてきたシオさんは、大学卒業後いったん就職をしますが、音楽の世界でやつていくことを決め、その道を歩き始めました。

この頃は、ひの社会教育センターでの立場も変わり、リーダーとして子どもたちとキャンプやスキーに出掛けていました。子どもの頃、学校に居場所

がないときも、ここには居場所があったこと。学校での友人関係がうまくいかないときも、他の学校に友達がいたこと。そんな自身の経験を、今度は自身が「居場所」となつて子どもたちに伝えてあげられたら、そんな想いで接していたそうです。

そして、自身の『ミュージシャン』としての生き方、テレビには出ていないけれど、ギターを弾き、音楽を続けている、自分のようなそういう生き方もあるし、いろいろな生き方



があつていいんだよということを見せてあげられたら、そんな想いもありました。「自分もそうだったから。いろんな生き方があるってことを教わったから。」と。

現在、地方なども含め各所コンサートに飛び回るシオさんですが、地元日野市・八王子市でも多くのイベントに呼ばれ、歌声を届けています。

そこでは、ひの社会教育センターに関わったことのある人に出会うことも多いそうで、地域でそれぞれ活躍されている皆さんがつながれば大きな力になる！もつと地元を元気にしたい！そんな想いを胸に活動されています。そんなシオさんを、「古い友人」の一人として、これからも応援しています。（取材・野口）



『いきいき健康クラブ』の活動にお邪魔しました。

いきいき健康クラブは、日野市内10会場・八王子1会場、主に地区センターなどで開催しています。

レクリエーションや健康体操を通し、体を動かす楽しさを実感し、また転ばない体づくりや、いつまでも自立した生活が送れる健康づくり、そして仲間づくりを目指しています。

いきいき健康クラブの皆さんも挑戦している『ボッチャ』は、誰にでもわかりやすく、簡単に挑戦できるニュースポーツ。

取材したこの日は、皆さんにとっては2度目のボッチャ体験でしたが、ミラクルショットも飛び出し、大盛り上がり。最後の最後まで逆転劇が繰り広げられ、とても楽しい時間でした。来たる2020東京オリンピック・パラリンピックイヤー、ひの社会教育センターでは、小学生のスポーツ教室会員の子どもたちと、このいきいき健康クラブの皆さんとの交流スポーツ大会を企画しています。大人も子どもも同じルールで取り組めるスポーツ、ボッチャ。チームで作戦を立て、頭脳戦にもなるので、勝利のゆくえも楽しみです。

（取材・野口）



▲真剣！そして楽しい、ボッチャ！



新年を迎え、ひの社会教育センターでは下記の日程で、「新春のつどい」を開催します。
日頃よりご利用いただいている皆様をはじめ、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 2020年1月19日(日) 午後1時から
第一部 賀詞交歓会 (1時～2時半)
第二部 交流会 (2時40分～4時)

会場 Tomorrow PLAZA 2階 TreeHALL

参加費 1,000 円
(二人以上のご家族は 1,500 円、学生 500 円)



日野社会教育センターが市より受託運営している、百草の子育て支援カフェ『モグモグ』の大人気レシピをご紹介します！
ご家庭でもチャレンジしてみてくださいね

第4回 メニュー紹介！

『とろとろ大根のうま塩鶏スープ』

秋冬だいこんは、水分をたっぷり含み、煮汁やスープの味をすいこみ、口に含むとじゅわっと水分が広がります。調味料にしょうがやにんにくも使い、体を温めましょう。

つくりかた

- ①鶏肉は一口サイズに切り、塩こしょうしてもみこむ。
- ②大根は 5 mm幅のいちょう切りにする
- ③中火で熱したフライパンで鶏肉を焼く
- ④肉全体に色がついたら大根を加える
- ⑤調味料を加え、落し蓋をして中火で 10 分煮る
- ⑥お好みで粗挽き胡椒をふる



※大根は一度茹でてから④で加えると味が染み込みやすいです。

★できあがり★

『モグモグ』では日替わりランチ¥550、こどもランチ¥150 で提供しています。
コーヒーなどのドリンクも¥100～¥130 と、とってもリーズナブル！

増税後も値上げしていません!!



材料 (大人2人分)

・鶏モモ肉	300g
・大根	300g
《調味料》	
・水	2 カップ
・酒	大さじ 1
・白だし	小さじ 2
・鶏がらスープの素	小さじ 2
・にんにく、しょうがチューブ	
・塩こしょう	1～2 cm 少々



賛助会へのご協力 ありがとうございます

★順不同・敬称略 10/1～11/30

- ①個人会員 1口 1,000 円
遠藤洋子 3口 山田チエ子 10口 綾部弘 20口
蜂屋弘之・道恵 10口 下河原直明 1口
- ②団体会員 1口 5,000 円
矢千代会 4口 日野アコーディオンサークル 2口

新館タイムズ

『新しい建物で、広がる新たな使い方』
新館がオープンし、10ヶ月ほどが経ちました。小さきさまざまな研修室を備え、目的に応じた部屋ができたことや、1時間単位で利用ができるようになり、新しい利用スタイルが生まれ始めています。

○個人で楽器の練習に…
3階の音楽室は、防音機能を備えたコンパクトなお部屋で、グランドピアノが常備しています。ピアノの発表会前や、個人での練習に1時間だけ…という方もいらつしやいます。

○子育てサークルの活動拠点に…
同じく3階の301・302は可動式パーテーションにより部屋の大きさを調節可能な部屋。土足禁止によって床面も清潔なお部屋では、乳幼児の子育てサークルが、安心してハイハイをする子どもを遊ばせながら活動ができると好評です。部屋で飲食ができることもおススメのポイント！



▶子育てサークルの集まりで

○作品や旅行記の展示・発表の場に…
1階ロビーには、無料でスペースをお貸しできるギャラリーコーナーを整備。これまで、絵画の個展、書道展、旅の思い出写真展など壁面を使った様々な展示で情報発信、交流が行われています。
(使用規定をご確認の上、申請書のご記入をお願いします)
このように様々な活動や新しい動きが次々と生まれています。ひの社会教育センターを使って、みなさんの新しいアイデアを実現させてみませんか!?

(取材:寺田)

新館建設寄付者ご芳名

10/1～11/30 ご寄付いただいた方

※都合によりお載せしていない方もおられます。

ひのりす会 書道教室 横川健二

阿部好治 高橋 紘 (順不同・敬称略)

たくさんの募金をありがとうございます。



募金総額 11/30 現在
405 名+募金箱

¥24,739,327-